

基議厚産第 2 2 2 号
令和 5 年 1 1 月 2 9 日

基山町議会
議長 重 松 一 徳 様

厚生産業常任委員会
委員長 大久保 由美子

所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務の調査を終了したので、その結果を報告します。

記

1 調査事項並びに調査期日

- (1) 基山町産業振興協議会について 令和 5 年 10 月 24 日 (火)
(概要説明及び現地視察)

2 調査結果

基山町内の農林業、小規模の製造業、商業、サービス業は従事者の高齢化、後継者不足により厳しい環境が続いている。前述の課題を踏まえ、産業の振興と活性化のために平成 27 年 4 月に基山町産業振興協議会を設立し、事務局を産業振興課内に置いた。

今回は、設立後 8 年が経過している協議会の現状と設立後の経緯、各部会の状況と実績、関連予算の執行状況、今後の目標等についての説明を受けたのち、九州自動車道基山パーキングエリア（上り線）にある「基山ふるさと名物市場」を視察した。

基山町産業振興協議会は事業推進部会、六次産業化推進部会、ブランディング部会から構成され、基山ふるさと名物市場事業やサカキプロジェクト、エミュー事業、きやま門前市や各種イベントへの出店を行う際の支援をしており、会員数も増えているが、一方課題としては、経営の自立化や会員としてのメリット感の向上、ブランドの確立、農産物等の生産戦略化などが挙げられるとの説明を受けた。

当委員会としては、基山町産業振興協議会が農産物生産者や加工業者に対し、きやま門前市や博多ファーマーズマーケットなど各種イベントに出店要請するだけの機関になっているため、町が基山町産業振興協議会の事務局として主導していく以上、新規会員の拡大や後継者育成、新規商品の開発、地域おこし協力隊や集落支援員の活用とともに民間等の知恵を借りるなど、積極的な対策を講じるよう提案した。

六次産業化推進部会については、サカキプロジェクトやエミュー事業、キクイモ事業など基山町の農畜産物を使用した特産品の開発やブランドの確立などに取り組んでいるとの説明を受けた。

当委員会としては、取り組んでいる事業の発想までは良いが、基山町と商品のどちらをブランディングしたいのかが明確になっていない。基山町産業振興協議会事務局の役割としては、販売先の開拓やマーケティングを行うべきであり、例えばサカキプロジェクトへの支援については、経過報告会の開催や更に参加者を募集し、やりがいがあり成果が出る事業にするなど、各事業について引き続き支援を行っていくよう提案した。

基山ふるさと名物市場については、令和4年4月にリニューアルオープンし、売り上げや販売点数、客数は増加傾向にあるとの説明を受けた。

当委員会としては、アンテナショップ的な意味合いの施設ではあるが、課題である経営の自立化や収益を確保する体制には至っていないため、売り場の責任者を配置し、出品者や出品数の増加、売り場のレイアウトの変更を行うなど、収益確保に努めるよう提案した。